

THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区
木更津東ロータリークラブ
2018-19 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

2018-19 年度国際ロータリーテーマ インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION

第 27 回 例会 NO. 2439 2019 年 2 月 6 日 (水)

ヴェネツィアとその潟



1987 年登録 世界遺産

■司会進行 浅野文夫 SAA



- ◆点鐘 渡邊元貴会長
12時30分
- ◆国歌斉唱「君が代」
Rソング「奉仕の理想」
- ◆出席 会員 50 名
出席 32 名・欠席 18 名
- ◆出席率 66.66 %

◆前々回出席率 25.64 % 修正後出席率 56.41%

◆欠席者【敬称略】

石渡正明・齊藤新一・嶋津正和・鈴木秀幸
三沢 猛・塚本秀夫・濱田昌己・林田謙志
叶川博章・近藤直弘・宮寺順子・大里光夫
藤永範行・藤野宏治・山中 恵・吉田和義

◆メイクアップ【敬称略】

- ・1/26 地区諮問委員会 山田修平
- ・1/30 第2回被選理事会
加藤智生・渡邊慎司・松岡邦佳
藤永範行・近藤直弘・石渡雄悟
林孝二郎・内田 重・山中 恵
渡邊元貴
- ・2/1 RYLA 委員会 吉田和義
- ・2/2 財団補助金セミナー 渡邊元貴
- ・2/2 国際大会推進委員会 山田修平
- ・2/6 定例理事会
渡邊元貴・渡邊慎司・松岡邦佳
加藤智生・大澤藤満・石渡雄悟
林孝二郎・浅野文夫・鶴岡大治
堀内正人

ホームページ <http://ki-east-rotary.ala9.jp>

木更津東ロータリークラブ

会 長 渡 邊 元 貴
幹 事 大 里 光 夫
編 集 勝 呂 泰 樹

国際ロータリー

RI 会 長 バ リー・ラ シ ン
地区ガバナー 橋 岡 久 太 郎
ガバナー補佐 吉 野 和 弘

◆結婚祝 【敬称略】

- ・2/1 大澤藤満 ・2/3 石渡雄悟
- ・2/6 大森裕資



◆誕生祝 【敬称略】

- ・1/31 林孝二郎



■図書館への寄附授与式

渡邊元貴会長



■会長挨拶・報告

渡邊元貴会長



1月26日に第5グループのインターシティーミーティングが開催されました。当クラブからは、近藤会員から魅力ある例会運営の事例として木更津東クラブの取り組みをご発表いただきまして、ほかのクラブの皆さんからも称賛の声をいただきました。お伝えいただいた近藤会員に感謝申し上げます。

さて、青年塾という若手経営者や幹部社員向けの一年間の実践道場があります。青年塾の講座の一つで水俣病から学ぶ講座があるのだそうです。今は既にお亡くなりになっているのですが、そこで水俣病の語り部をされていた杉本栄子さんのお話をご紹介します。

水俣病は昭和30年代の前半に化学工場からの排液が原因となって、住民に重大な健康被害をもたらした大公害です。

杉本さん一家は、水俣の小さな漁村で漁師の網元をしていました。第一号患者になった人が、杉本さんのお母さんです。様子がおかしいので急いで病院に連れていきました。

そして、そのことがNHKのラジオ放送で全国放送されました。「水俣に住む杉本としさん（お母さん）は、マンガン病という奇病と思われる」との内容だったそうです。マンガン病のことについては誰も知識があり

ません。そして、その病気が「うつる（伝染する）」という風評がどこからとなく流れたのです。このラジオ放送がもとで、杉本家への壮絶な社会的いじめが始まりました。

お母さんは自宅療養のため退院するのですが、家に到着するやいなや村人たちが駆け寄ってきました。栄子さんは、お見舞いに来てくれたのかと思ったのですが、そうではありませんでした。村人たちの顔は鬼の形相で「病院へ戻れ！」と罵声をあびせました。栄子さんお母さんを抱いてあわてて家に逃げ込みました。それまで親戚のように付き合ってきた村人たちが、締め切った雨戸に向かって石を投げつけました。その雨戸にあたる石の音が、何十年も耳から離れないとおっしゃっていたそうです。

この社会的ないじめはその後長い間続きます。あるとき道を歩いていた栄子さんに石を投げつける人がいました。その石をよけようとしたところ、栄子さんはよろけて下の畑に転がり落ちてしまいました。その時、その畑で作業をしていた村人から罵声が飛びました。「畑に入るな！出ていけ！」そして、そこにあった肥を栄子さんにひっかけました。

栄子さんは、泣きながら家に帰ってお父さんに訴えました。「お父さん、お願いだから、私たちをいじめる、あの人たちに一度でいいから仕返しをさせてください。」「そして、私も死なせてください」と。

しかし、栄子さんのお父さんは絶対に仕返しすることを許しませんでした。「仕返しをしちゃならん。同じことを人にすればその人も自分たちと同じようにつらい。うんこは洗えば落ちる。」

そのお父さんが、ある大雨の朝、一人で家を歩いてでていきました。栄子さんは、心配になり、そっとお父さんの後をついていきました。すると、お父さんは港の奥の誰からも見えないところまで行って、海に向かって大声を張り上げて泣いていたのだそうです。

お父さん亡くなる前に栄子さんに残した言葉があります。その遺言が、栄子さんのその後の人生訓となりました。その言葉は、「人さまは変えられない、自分が変われ、その方が楽だ」

栄子さんは、どんなことがあっても、仕返しはしない。そんなことをしても自分がつらくなるだけだ、自分の考え方を工夫しながら、長い歳月を耐え続けたのです。辛い社会的ないじめにあいながらも、家族は栄子さんの大きな心の支えでした。特にご主人です。お嬢さんであるご主人は、水俣病のお母さんの食事の介護をするとき、ぼろぼろお母さんの口から床にこぼれ落ちた食べ物を自分の口に運びながら、「お母さん、早く元気になりや」と言って看病してくれました。

長い歳月をかけて、裁判なども進み、次第に水俣病の全容が明らかになっていきました。当時を振り返って栄子さんは言います。

「今、思えば身の毛のよだつようないじめがあった。でも、いじめ返しをしなかったことは、私の宝です。もし、私が水俣病にならなかつたら、同じように水俣病になった人に対して、石を投げつけていじめていたかもしれません。」

そして、当時栄子さんをいじめていた人がみんな栄子さんに謝りに来て、栄子さんに向かって手を合わせてくれるのだそうです。

「水俣病になって一番得したのは、私だったのです。」と語っていらっしやいます。

栄子さんご自身も水俣病を発症し、すでにお亡くなりになりましたが、語り部は息子さんに引き継がれているようです。お亡くなりになるまで続いた栄子さんの語り部活動は感動を呼び、善意によって現在も水俣病で苦しんでいらっしやる患者さんのために療養施設ができています。

前日のIMでRLI日本支部ファシリテーター委員

長の中村靖治氏が特別講演をされました。中村氏は、奉仕に見返りを求めてはならないとおっしゃっていました。杉本さんの語り部としての活動は利他そのもの、奉仕そのものだと思います。

■幹事報告 渡邊会長 幹事代行

1) 本日例会終了後、第8回定例理事会が開催されますので理事の出席をお願いいたします。

他クラブからのお知らせ

- 1) 木更津 RC より「例会変更のお知らせ」が届いておりますので回覧いたします。
- 2) 木更津 RC より「週報」が届いておりますので回覧いたします。

その他のお知らせ

1) 特になし

回覧

- ・木更津 RC より「例会変更のお知らせ」
- ・木更津 RC より「週報」

■委員会報告

◇ロータリーの友 2月号

雑誌担当副委員長 山中 恵会員

【本日は原稿のみ記載いたします】

「2月は、平和と紛争予防／紛争解決月間です」

I、横組み

- 1、「7P～11P」特集一難民を知る
国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）の発表によると、2017年度末時点で、紛争などで避難している難民・避難民の数は5年連続で増加し、過去最高の6,850万人（うち難民は2,540万人）を上回った。そこで、平和と紛争予防／紛争解決月間の今月は、難民にフォーカスし、3人の難民の足取りをたどり、ロータリーでどんなことができるかを考えてみましょう。

【難民・避難民の定義】

【難民】：1951年の「難民の地位に関する条約」では、「人種、宗教、国籍、政治的意見やまたは特定の社会集団に属するなどの理由で、自国にいと迫害を受けるかあるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた」人々と定義されている。

【避難民】：天災・火災・戦争などで避難した人々。

(1) アリンの物語

- ① 2017年8月以降ミャンマーからバングラディッシュへとロヒンギャ難民が多数流出
- ② アリンの家族（夫、義母、2人の子ども）は、足の不自由な義母を抱え、山や川を越えミャンマーからバングラディッシュへ10日間、102kmを歩き続けて避難しました。

(2) ジーナブの物語

- ① 2011年3月以降内戦によってシリア各地が破壊され、多くの家族が国外へ避難。
- ② ジーナブと夫は子ども達を抱えて、真冬戦火にさらされながら毛布もない中で、シリアからヨルダンへ4日間、153km避難しました。

(3) オパニの物語

- ① 南スーダンの首都ジュバで2016年7月に起きた衝突以降、隣国ウガンダに逃れる難民が増加。
- ② 常に戦火で攻撃される恐怖にさらされながら、オパニは娘を抱え徒歩で南スーダンからウガンダへ7日間、92km避難しました。

(4) ロータリーの取組

ロータリーでは奉仕プロジェクト、平和フェロシップ、奨学金などさまざまな形で、紛争の根底にある諸問題（貧困、民族間の緊張、教育

機会の欠如、資源の不平等など）に取り組んでいます。

※詳しくはP11、RIウェブサイト参照。

◇炉辺夜間例会のご案内

会員増強・研修委員会 栗坂禎一会員



次週2月13日の炉辺会議において、来期のプログラムとして実施したい卓話の内容や野外例会等を議論したいと考えております。

◇ニコニコボックス

クラブ管理運営委員会

坂井健治会員



・林孝二郎会員

73歳になりました。今年の目標は「ゴルフもう少し上手になりたい」「ロータリー例会 毎回出席」「新しいカラオケレパートリーを加える」

よろしく おつきあいお願いします。

・大森裕資会員

記念日の花束ありがとうございました。48回目となりました。50周年を迎えられるよう、妻に怒られながらタバコ、お酒を愛し過ごします。

・大澤藤満会員

結婚記念日のお花をありがとうございます。すっかり忘れていました。遠い昔の56年前の記念日です。

・石渡雄悟会員

先日、結婚記念日のお花を頂きありがとうございました。

・鶴岡大治会員

みなさんの知らない図書館の話が聞けると思っています。私も楽しみです。

■例会アワー

社会奉仕プロジェクト委員会 鶴岡大治会員

本日は、木更津図書館 副館長の鎌田節子様卓話をして頂きます。



テーマ

「皆さんに愛される街の図書館を目指して！！」

卓話者 木更津図書館 鎌田節子 様



私は木更津市立図書館の鎌田と申します。本日はお招きいただきありがとうございます。

東ロータリーの皆さまには日頃より図書館業務にご理解ご協力をいただきありがとうございます。毎年、いただいておりますご寄付も45回となり、総額470万3千円を青少年育成のための図書購入に使わせて頂いております。

さて、みなさんにお尋ねしたいと思えます。「木更津市立図書館をご利用されたことがある方は挙手をお願いいたします。」ありがとうございます。

それでは、今年になって本を一冊でも結構です。お読みになった方は挙手をお願いいたします。」ご協力ありがとうございました。

木更津市立図書館が開館したのは昭和4年(1929年)です。現在の木更津市立第一小学校の敷地内に木更津町の図書館として開館しました。南房総エリアでいち早く開館した公共図書館で当時は、近隣の住民からも

心の拠り所として愛された存在であったと推測されます。

戦後、昭和23年には、県立図書館君津分館を併設し、現在の文京地区に新館が開館したのは昭和49年のことです。時代が高度経済成長を迎え、車社会になってきますと駐車場問題が浮き彫りになり、花壇をつぶしたり、水道部の用地やご近所の土地を譲り受けるなどご協力をいただき、現在の広さになっております。

現在、蔵書数は約36万冊。市内14公民館図書室にも配本を行い本館に来られない利用者に対しても公民館職員の協力の下、サービスを行っております。

また、限られた予算で全ての利用者の要望にお応えするのは大変厳しい状況ですが、「相互貸借」という図書館間の協力システムを活用し、千葉県内はもとより、県外図書館、国立国会図書館とのネットワークを活用し、できる限り、皆様のご要望に応えるよう努力しています。そして、迎える少子高齢化時代についても取り組んでおります。

特に児童サービスについては「木更津市子ども読書活動推進計画」に基づき、市内小中学校との連携をとり、授業で必要な資料の貸出や読書環境を整えるお手伝いをさせていただいております。

子育て支援の一環としては、保健相談センターで毎月行われている生後4か月になった乳児を対象とした乳児健康診査の会場で待ち時間を利用し赤ちゃんひとりひとりに絵本の読み聞かせを行っています。

昭和61年から行っている「おはなし会」は対象を赤ちゃんからお年寄りにいたるまで楽しんでいただいております。

具体的に申し上げますと

- ① 赤ちゃんといっしょのおはなし会（毎月隔週で）
- ② 3歳児から小学生までを対象とした図書館のおはなし会（毎週）
- ③ 市内の保育園児を対象としたおはなし会（毎月）
- ④ 小学生や中学生を対象としたおはなし会（要望があれば）
- ⑤ 大人のためのおはなし会（年2回）
- ⑥ 高齢者施設でのおはなし会（要望があれば）

という状況です。

高齢者、及び障害があり本を読むことが困難な方へのサービスについては、視力障害（老眼）の方のためには、大活字本のコーナーや拡大読書器を館内に設置するなどして対応しております。さらにご要望があれば、ボランティアの方の協力の下、点字本や録音図書（カセットテープ・CD-ROM）貸出も行っています。このような読書支援とは別に、小学生・中学生の職場体験や高校生・大学生のインターンシップ、教職員の研修の受入れに協力し、さらに「ぶれジョブ木更津」協力企業として登録し、地域の就労体験施設としても協力体制を築いています。

さて、図書館が行っているサービスについて簡単に説明させていただいたところですが、実際に図書館の中を紹介させていただきたいと思います。

まず、2階の郷土・参考調査室です。

- ・蔵書冊数 郷土資料 約30,000冊
参考資料 約18,000冊
- ・特種コレクション（県指定文化財・市指定文化財・在館古文書）
- ・特種コレクション（松美文庫、長沢文庫、仲耕席積文庫）
- ・公文書（中郷行政文書・旧鎌足出張所文書・富来田支所行政文書）
- ・過去の新聞（朝日新聞縮刷版 昭和4年以降所蔵）

特に利用が多いコーナーは

- ・県内の住宅地図
- ・全国各地の電話帳
- ・インターネット検索コーナー
- ・各種事典・辞書等

次に児童室です。

蔵書冊数 約67,000冊

子どもたちに分かりやすい本の配置を考え、コーナーを設け、本を置いています。

さて、ここで問題です。

このキャラクターは何でしょう？

正解は、「エルマーのぼうけん」に出てくるりゅうです。

私事で恐縮ですが、私がこのおはなしに出会ったのは小学校の低学年だったと思います。本ではなく、NHKの教育テレビでやっていた人形劇が最初だったと思いますが、その時は、なんておもしろい話なんだろう、と楽しい気持ちになったのを覚えています。でも、そこでその本を読もうということにはならなかったのです。しかし、25年前に図書館の勤務になり児童担当になってから、私の新たな読書人生が始まりました。

「児童書、ハンパネエ！」

面白いんです。誰がなんと言おうと面白いんです、児童書。

「エルマーのぼうけん」は三部作となっており順序よく読んでいただくと木更津市立図書館の児童室を飛んでいるりゅうの数も納得がいくと思います。

さらに、小学校2年生の時の道徳の本に載っていた子どもながら心の温まるお話で大人になってもストーリーだけは覚えていた本に再会します。それは「おおかさんだいすき」と言う本です。題名になっている話も好きですが子どもの頃に感動した話とその次に載っていたのです。

このように大人になってから読んでも面白いし、私のように大人になって再会し、当時を思い出しながら読むのもまた楽しいものです。

図書館の児童室には、そんな大人の方へのプレゼントコーナーが用意されています。

木更津市立図書館について、短い時間の中で紹介させていただきましたが、いかがでしたでしょうか。

決してきれいでないかもしれませんが。広くないかもしれませんが。

でも、玄関前に広がるプランターの花、花、花。カウンターを彩る切りえや折り紙作品など、利用者みなさんの善意に支えられた暖かい空間がみなさんをお迎えます。

どうか気楽な気持ちでお立ち寄りください。どうぞみなさまのご利用をお待ちしております。



楽しい鎌田さんの卓話でした！ありがとうございました。

点鐘 渡邊元貴会長 13:30